



サステナブル・ トランスフォーメーションの時代へ



Sandro Pierri

CEO, BNP Paribas Asset Management

私たちはお客様に寄り添い、ネットゼロへの道筋を支援し、生物多様性の保全、包摂的成長を促進させるようなサステナブル投資のソリューションに資本を振り向けるべく懸命に取り組んでいます。こうした強い信念は当社の「2022～2025年戦略」にも浸透しており、私たちが目指す、お客様への長期で持続可能な運用リターンを提供を可能にしましょう。



Jane Ambachtsheer

Global Head of Sustainability

2022年に当社は「グローバル・サステナビリティ戦略」の改定版を発表する予定です。これにより包摂的で持続可能なネットゼロ経済の実現に貢献すべく、当社のビジョン、野心、具体的な計画を打ち出す方針です。私たちは今後一層の進化をお客様と分かち合うことを心待ちにしています。



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The sustainable
investor for a
changing world

BNPパリバ・アセットマネジメントについて



責任ある投資家としての受賞歴:
専門知識が認められ、2021年に39賞を受賞

BNPパリバ・アセットマネジメント（BNPP AM）は、サステナビリティを戦略や意思決定の中心に据え、お客様のために、長期で持続可能なリターンの獲得を目指します。

5370億ユーロ

AUM*

2,749**

社員数

32

拠点数

3305億ユーロ

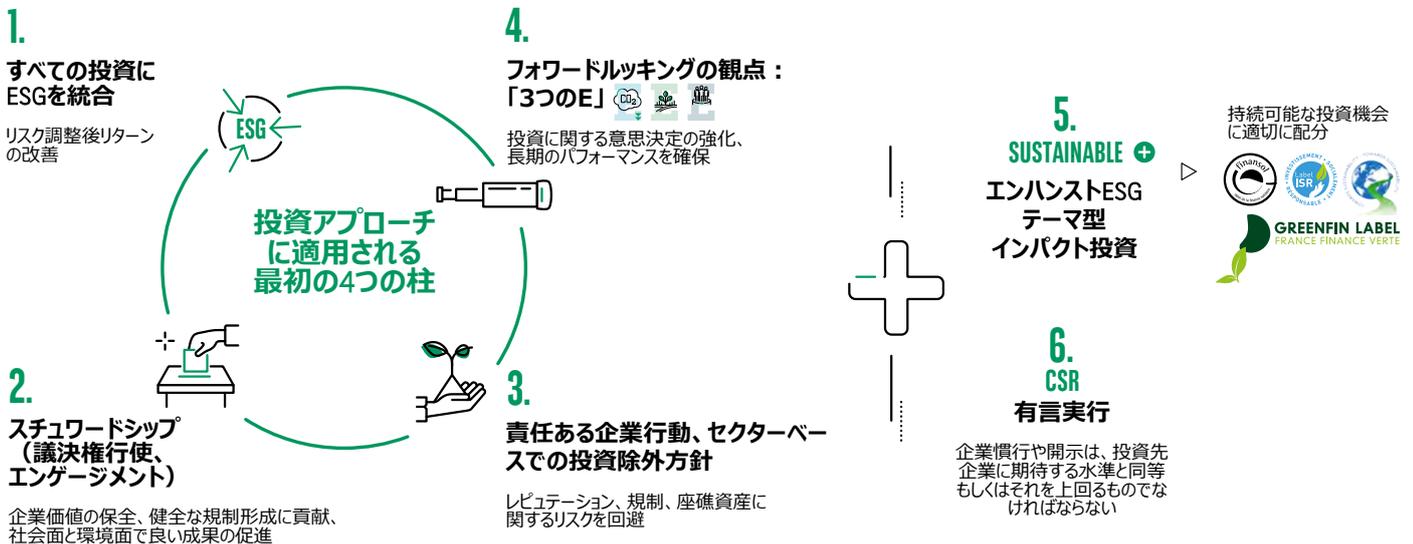
ESG投資の残高***

* AUM: 運用資産総額

** 合併会社を含む

*** ESG投資の残高は当社のグローバル・サステナビリティ戦略に準拠しているもの

サステナブル投資のアプローチ：6つの柱



BNPP AMはより良い世界づくりに貢献するサステナブル・インベスターです。そのビジョンでは、お客様の投資に持続可能な価値を加え、お客様のニーズに合ったファイナンスを提供することにより、お客様の人生に違いを生み出すことを掲げています。また、私たちは企業、政府、国際的な公共政策へのサステナビリティ面での影響力を通じて、将来世代にとって世界をより良い場所にしたいと望んでいます。この実現に向け、当社はサステナビリティを事業戦略の中心に据え、投資における信念の1つとしています。

当資料は、上図に示されているサステナブル投資における6つの柱をビジネスに組み込む上での進捗状況をまとめたものです。



2021年における主な実績

1. すべての投資にESGを統合

社内の ESG統合ガイドラインに基づき、ESGを運用プロセス全体に組み込み、独自の ESGリサーチの対象を3,000社から13,000社以上へ拡大しました。商品開発プロセスにおける包括的な検証システムを使用することで、今やESG統合された運用資産残高は3,305億ユーロに達しています。

2021年にはインデックスプロバイダーと連携し、既存の18本のETFをESG/パリ協定に整合するベンチマーク指数連動へ移行させ、主力の「BNP Paribas Easy Index」シリーズのETFについてサステナビリティ特性を強化しました。こうした連動対象指数の変更により、現在、BNPP AMのETFの83%、運用資産164億ユーロが、欧州サステナブルファイナンス開示規則（SFDR）の第8条または第9条の金融商品に分類されています。

当社は「ESGデータプログラム」を立ち上げ、運用プロセスをさらに効率化し、将来のお客様向けレポートや規制の改正に備えています。

「市場で活用できるESGデータは増え続けており、この大量のデータの収集・消化は大きな課題です。一方で、この状況は資産運用業界がお客様に投資価値をお届けし、実体経済にも良い成果を生み出す上で、数十年間で最大の機会の1つでもあります。BNPP AM独自のESGスコアリングにより、運用担当者は投資先企業のESG特性に関する見解を差別化でき、またBNPP AMの『ESG統合ガイドライン』は業界をリードする指針として、ファンド（全てESG基準を導入）の運用実績をベンチマーク以上に高める結果にも貢献しています。」

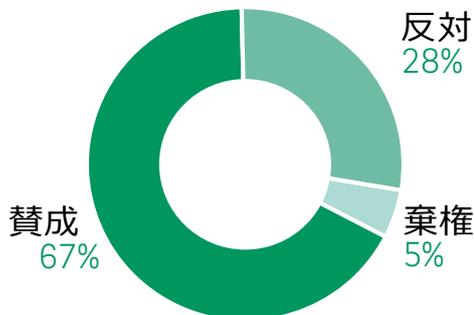
Alex Bernhardt
Global Head of Sustainability Research

2. スチュワードシップ（議決権行使、エンゲージメント）

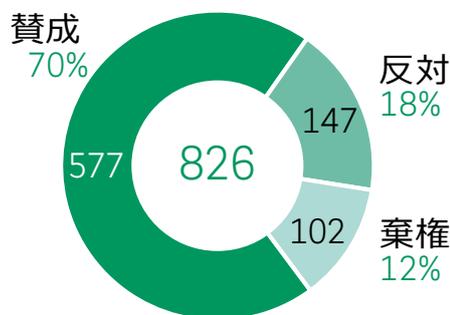
議決権行使とガバナンス指針を明確に定義し、議決権行使戦略の基盤としています。この結果、2021年には**企業が提案する議案の約33%に反対票**を投じました。

議決権行使の対象を定め、2021年に2,098回の株主総会で議決権を行使（主に欧州）

会社提案議案に対する投票



株主提案に対する投票（全世界）



株主提案に対する支持率は2021年に上昇

70%
2020年は63%

「3つのE」に関連するトピックで企業と定期的に対話しており、そのエンゲージメントの成果については第4章で説明しています。

66



3. 責任ある企業行動

当社は「責任ある企業行動方針」を策定し、その中で投資除外リストを規定しています。新規のお客様すべてに適用される基準であり、既存のお客様には話し合いを通じてBNPP AMのこの方針をご了承いただけるようお願いしています。

2021年には方針を強化し、発電ミックスの中に石炭火力発電を有する電力会社を自動的に除外することとし、その期限を欧州連合・OECD加盟国では2030年、それ以外の国では2040年としています。

私たちは、北極海地域に位置するシェールオイル・ガス、オイルサンド、石油・ガス資源の探査・生産・取引・パイプライン敷設に大きく関わる企業に対し、投資除外や要求基準を導入しました。

また、当社の農業セクター方針を更新し、ブラジルのアマゾン地域とセラード地域（地球上で最も生物多様性に富む2地域）の森林伐採や土地開発に関わる企業への投融資の基準を引き締めました。

「Net Zero Asset Managers イニシアチブへの参画は、ポートフォリオの脱炭素化を進めてきたこれまでの歩みを次の段階に進めるもので、すでにある多くの方針やプロセスを補完するものです。」

Thibaud Clisson
ESG Analyst, Climate Change Lead

4. フォワード・ルッキングの観点:「3つのE」－エネルギー転換、環境の持続可能性、平等と包摂的な成長

エネルギー転換 (Energy transition)

2021年、BNPP AMはNet Zero Asset Managers (NZAM) イニシアチブに署名し、運用ポートフォリオをパリ協定の目標に整合させるべく、コミットメントを強化しました。エネルギー転換を独自のESGスコアリングを介して運用に深く組み込んでおり、投資除外方針は気候変動に関して最も注意を要するセクターを対象としています。

また、運用会社としての影響力を用い、投資先企業、国、政策当局にパリ協定の目標に則した対応の実施を働きかけています。加えて、**気候変動に関する株主提案の90%近くを2021年の議決権行使で支持**し、エネルギー転換に関する企業とのエンゲージメントを個別方式（1対1）と連携方式（Climate Action 100+等の共同イニシアチブを活用）で行っています。

環境の持続可能性 (Environmental sustainability)

2021年、「サステナブルへの回帰：生物多様性ロードマップ」を発表し、サステナブル投資アプローチに生物多様性を考慮する計画を公表しました。

当社の議決権行使、エンゲージメント、公共政策の提言は、環境の持続可能性に対する私たちの期待を反映したものであり、特に森林伐採と水効率を重視しています。複数の主要イニシアチブに参加することで、自然喪失に対する世界、地域、国の政策対応を方向づけ、具現化することを目指しています。2021年12月には「プラスチック汚染に関する国際条約」の制定に向けた提案書に署名を行い、世界中の政府に承認されました。

BNPパリバの専門家2人が
TNFDに参加



Sébastien
Soleille

Robert-Alexandre
Poujade

自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) の発足をかねてよりサポートしてきましたが、この度、当社グループの2名がTNFDメンバーに指名されました。Robert-Alexandre PoujadeはBNPP AMで生物多様性分野を統括するESGアナリストで、Sébastien SoleilleはBNPパリバ・グループでエネルギー転換・環境部門の責任者を務めています。TNFDの目標は気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) をモデルとし、自然関連リスクを評価する枠組みを多様な組織に提供し、それに則った行動を推進することです。

平等と包摂的な成長 (Equality and inclusive growth)

BNPP AMが企業の取締役の任命に反対する比率は、2018年の20%から2021年には37%にまで上昇しており、主に多様性関連でした。不平等がコロナ危機の中で増大していることに対する懸念を提起している多数のインシアチブにも参加しています。

また、投資戦略において「平等と包摂的な成長」の要素も取り入れたデータモデルを開発しました。当社の「インクルーシブ・グロース戦略」では、不平等の低減に積極的に取り組んでいる企業への投資を重点的に行っています。



「BNPP AMの独自モデルでは、従業員の離職率や取締役会の多様性といった特定のパフォーマンス指標を統合することにより、投資ユニバースをフィルターにかけてトップ企業を割り出します。

この選別手法により、当初の分析段階で1,000社前後の候補銘柄を40～60銘柄に絞り、確信度の高いポートフォリオを構築することが可能です。

お客様は長期的な価値を生み出しつつ、明日の社会に良いインパクトを及ぼすことも求めています。当社はこのモデルでご期待にお応えしています。」

Maria Luz Diaz Blanco
Portfolio Manager of the Inclusive Growth strategy

5. サステナブル・プラス：エンハンストESG テーマ型、インパクト投資

当社はより踏み込んだ金融商品、すなわちテーマ型投資やインパクト投資を通じて、ESG特性を強化した金融商品に注力しています。その結果、**運用資産残高の2,290億ユーロ**は欧州サステナブルファイナンス開示規則（SFDR）の金融商品分類で第8条や第9条に該当します（オープンエンド型ファンドの81%を含む）。この3年間で、サステナブル認証ラベルファンドの数および運用資産を継続的に増やしてきました。

サステナブル認証ラベルファンド数 (SRI)



サステナブル認証ラベルファンドの運用残高



BNPP AMは仏エッセック・ビジネススクール（ESSEC）の学生と協力し、フランスの社会的連帯経済が貢献するSDGsの主要目標および関連するインパクト指標を割り出す手法に取り組みました。当社はこのメソロジーとともに、参加した投資先企業の詳細な分析を公表しました。



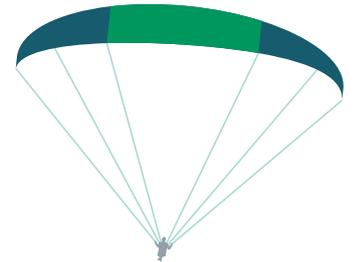
「インパクト投資の課題は、インパクトの測定方法や発行体のSDGs目標との整合性を評価する業界標準がないことです。そこで、現在、BNPP AMでは独自のSDGs測定フレームワークの構築を外部のパートナーとともに進めています。完了すれば、お客様にご自身の投資がSDGsにどの程度貢献しているのかご覧いただけます。」

Bérénice Lasfargues
ESG Analyst, SDG Lead

6. 企業の社会的責任 (CSR) - 有言実行

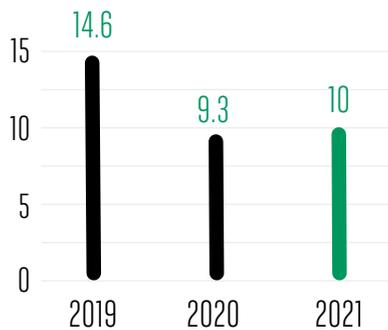
BNPP AMはCSRアプローチを導入し、野心的目標として**ジェンダー・バランスのとれた社員構成の実現、社員に対するボランティア活動の奨励、事業活動におけるCO2排出量や廃棄物削減**を掲げています。また、サステナビリティに関する社員研修や対話にも取り組んでおり、サステナビリティと社員給与の連動性も高めています。

当社からのCO2排出量を削減するため、IT使用の効率化に関する意識向上キャンペーンを社員向けに立ち上げました。グリーン電力の購入を継続し、社員の84%をグリーン電力または低炭素電力のいずれかを装備したオフィスでの勤務としています。また、オフィススペースや出張に伴うCO2排出分はカーボンオフセットしています。

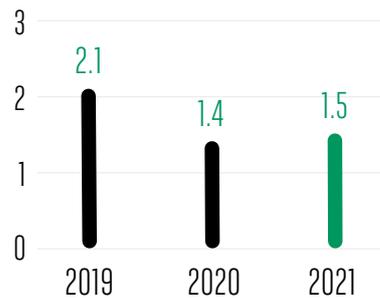


世界中のオフィスビル

エネルギー消費量
(100万kWh)

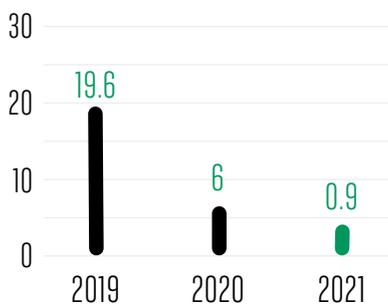


温室効果ガス排出量
(TCO₂EQ)

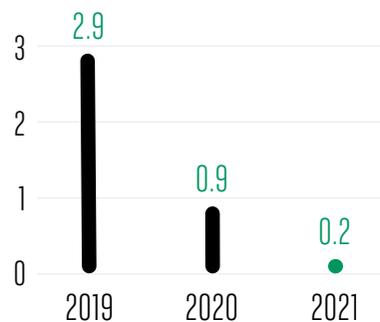


出張

距離
(100万Km)



温室効果ガス排出量
(TCO₂EQ)





当レポートについて

2021年サステナビリティ・レポート「サステナブル・トランスフォーメーションの時代へ」ではBNPパリバ・アセットマネジメントの活動、イニシアチブ、連携など以下の分野についての進捗をご確認頂けます。

- お客様へのコミュニケーション、レポートイング
- 利益相反の管理
- 公共政策の提言
- 責任ある企業行動
- 持続可能な貯蓄ソリューション
- サステナブル・テーマ戦略
- インパクト投資
- CSRへの当社のアプローチ

レポート全文（英語版）は[こちら](#)よりご覧ください。



ご留意事項

- 本資料はBNP Paribas Asset Management Franceが作成した情報提供用資料を、BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が翻訳したもので、特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社は、翻訳には正確性を期していますが、必ずしもその完全性を担保するものではありません。万一、原文と和訳との間に齟齬がある場合には、英語の原文が優先することをご了承ください。
- 本資料における統計等は、信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料には専門用語や専門的な内容が含まれる可能性がある点をご留意ください。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本資料中の過去の実績に関する数値、図表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。
- 本資料で使用している商標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該商標等の権利者に帰属します。
- BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社は、記載された情報の正確性及び完全性について、明示的であるか黙示的であるかを問わず、なんらの表明又は保証を行うものではなく、また、一切の責任を負いません。なお、事前の承諾なく掲載した見解、予想、資料等を複製、転用等することはお断りいたします。
- 投資した資産の価値や分配金は変動する可能性があり、投資家は投資元本を回収できない可能性があります。新興国市場、または専門的なセクター、制限されたセクターへの投資は、入手可能な情報が少なく流動性が低いため、また市場の状況（社会的、政治的、経済的状況）の変化により敏感に反応しやすいため、より不安定性があり、大きな変動を受ける可能性があります。

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長（金商）第378号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



BNP PARIBAS
ASSET MANAGEMENT

The sustainable
investor for a
changing world